

第3回コミュニティ推進基本方針策定懇話会 議事録

1. 日 時 平成25年5月28日(火) 18時00分～21時00分
2. 場 所 地域づくり支援センター2階視聴覚室
3. 議 題 ワークショップ
 - ・前回の振り返り
 - ・地域の課題の抽出
 - ・まとめ
4. 出席者 別紙2のとおり
5. 配布資料 第2回コミュニティ推進基本方針策定懇話会かわら版
6. 議事録

(1) 会長あいさつ

前回懇話会を行い、やっと、私たちの役割が見えてきたが、まだまだ見えない部分も多い。今日から、3時間のワークショップが3回続くが、皆さんの熱心な協議の中で、実りのあるものにしていきたい。

(2) 議事

◆前回のふりかえり、本日の協議内容説明

(ファシリテーター)

本日の会議の目的について説明する。

- ・基本方針は、10年後・20年後の光市の姿を想像した時、今、地域や行政の人たちがしなければいけないことを、大きな枠組みの中で考え、お互いの役割や機能を今のうちに整理していくもの。そのために、委員の皆さんの知恵を借りて、現状の課題や今からしていかなければいけないことを骨子の中に組み込んでいきたい。
- ・本日は、行政・地域(公民館)・自治会(個人)の現状と課題や不安を抽出し、同様の内容を整理していく。

(事務局)

- ・全国及び光市の人口及び構造の内訳(年少人口、生産年齢人口、老年人口)がどのように変化していくのかを説明する。
 - ※平成17年の労働力人口62.7%に対し、平成27年には53.9%となる。
 - ※少子化が改善されたとしても、子どもたちが働く世代(生産年齢人口)に区分されるまでには15～20年かかり、その間の税収は単純に計算すれば減っていく。税収が減ればこれまでのような公共は維持できないし、その間に、現在の団塊の世代が今後は75歳以上の後期高齢者移っていき、

社会保障が維持できない。

※光市の人口について、これまでの20年（H2～H22年）とこれからの20年（H22～H42年）では違うことを説明する。

	平成 2 年	平成 12 年	平成 22 年	平成 32 年	平成 42 年
計(人)	56,410	54,680	53,004 ▲6%	48,226	42,552 ▲19%
0~14 歳	10,011	7,854	7,188 ▲28%	5,582	4,484 ▲37%
15~64(A) (生産年齢人口)	38,287	35,962	30,682 ▲20%	25,595	22,696 ▲37%
65 歳~(B) 高齢者率	8,106 14.4%	10,864 23.0%	15,080 28.5% +51%	17,049 35.4%	15,373 36.1% +3%
A÷B	4.7 人	3.3 人	2.0 人	1.5 人	1.4 人
75 歳~		4,760	6,693 +39%	9,355 +40%	10,245 ▲9%

※高齢化が進むことは間違いのないことであるが、これが悪いと捉えるのではなく、高齢者をこれからの地域づくりのポイントの1つとして考えていけばいい。

◆ワークショップ

※3 グループに分かれて協議する。協議した内容を持って他のグループに移動し、協議を深め広げていく。（グループをシャッフルし、参加者全員が協議できるような仕組み：ワールドカフェ方式）

※現状や将来的な不安を、行政・地域（公民館）・自治会毎に抽出する。

※協議した内容を3グループの代表が発表する。

※委員一人ひとりが協議した意見（付箋）の中で、特に共感できる内容を3つ投票し、重みづけをする。

※各グループの協議内容の詳細は、別紙 A~C グループ

（ファシリテーター）

今回は、今回協議した意見を踏まえながら、解決する方法を考えていく。中には、行政がしなければいけないことや地域で解決できること、さらには、新

たな仕組み作りを考えないといけないなどを協議・整理していく。

(事務局)

次回については、7月上旬を予定しており、地域づくり支援センターで開催することとしたい。